

## 平成 30 年度継続課題に係る継続評価書

研究機関 : アビームコンサルティング株式会社、学校法人産業医科大学、国立大学法人東京工業大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所

研究開発課題 : 「IoT/BD/AI 情報通信プラットフォーム」社会実装推進事業  
I 最先端の自然言語処理技術を活用した高度自然言語処理プラットフォームの研究開発

研究開発期間 : 平成 29 ～ 31 年度

代表研究責任者 : 織田 美穂

■ 総合評価 : 適

(評価点 18 点 / 25 点中)

### (総論)

全体的にバランスよく進行しており、順調に進んでいるように見受けられる。

異なる課題ごとに効果を得られており、可能性は感じられるが、課題ごとの専用プラットフォームではなく、利用者から必要に応じて情報共有等が可能なプラットフォームという観点を強調するとさらによくなると思われる。

コア技術である自然言語処理の応答システムにおける地名フィルタという手法が中心となった性能向上の枠組について、汎用性、副作用など様々な観点から分析、評価することが望ましい。

### (コメント)

- 順調に進んでいるように見受けられる。

- 全体的にバランスよく進行している。
- 異なる課題ごとに効果を得られており、プラットフォームの有用性を示しているおり、可能性が感じられる。
- 一方で課題ごとの専用プラットフォームではなく、利用者から必要に応じて調整可能なプラットフォーム、情報共有が可能なプラットフォームという観点を強調するとさらによくなると思われる。
- コア技術である自然言語処理の応答システムの性能について、地名フィルタという手法が中心となった性能向上の枠組について、汎用性、副作用など様々な観点から分析、評価することが望ましい。

(1) 当該年度における研究開発の目標達成(見込み)状況及びアウトカム  
目標の達成に向けた取組みの実施状況

(5～1の5段階評価) : 評価3(評価点)

(総論)

指摘事項に対し対応が考えられており、草津本白根山噴火時など最近の事例もテストし、APIの開発等予定より先行するなどほぼ計画通りに達成している。

地名フィルタの運用方法について、その副作用も含めて、検討を行う事が望ましい。

(コメント)

- 指摘事項に対し、対応が考えられている。
- APIの開発等予定より先行している。
- 草津本白根山噴火時など最近の事例もテストしている。
- ほぼ計画通りに達成している。
- 標準化については現時点では考える必要はない。
- 各地の訓練情報等を利用し、具体的な成果をあげている。
- 実用的なレベルでの解析が進んでいる。
- 地名フィルタの運用方法について、その副作用も含めて、検討を行う事が望ましい。

## (2) 当該年度における研究資金使用状況

(5～1の5段階評価) : 評価3(評価点)

### (総論)

費目変更が何件か行われているが、限られた予算の中で有効、効率的かつ適正な執行が行われている。

### (コメント)

- 費目変更が何件か行われている。
- 限られた予算の中で適切に行っている。
- 分野適用の際に辞書やデータの作り込みをする事は不可欠であり、妥当であると考えた。

## (3) 研究開発実施計画及びアウトカム目標の達成に向けた取組み

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

### (総論)

データの作り込みやヒアリングなどの準備はしており、実行可能な計画と評価できる。さらに、多くの自治体と連携し、そこから得られた知見をフィードバックしており、優れた取り組みと認められる。

自治体でのユースケースについては試作段階であり、可能な範囲で多くのユースケースの分析を行ってほしい。

### (コメント)

- 多くの自治体と連携し、そこから得られた知見をフィードバックしている。
- 自治体でのユースケースについては試作段階であり、評価・改善のサイクルがまだ回っていない。
- 可能な範囲で多くのユースケースの分析を行ってほしい。
- 順調に進んでおり、東日本大震災を経験した地域との連携は価値があると思われる。
- 他分野への応用の際にどのような問題が出てくるのかについて、検討が不足しているようにも思われるが、データの作り込みやヒアリングなどの準備はしているので、対応できると考えた。

## (4) 予算計画

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

### (総論)

研究達成状況ならびに予算配分状況を踏まえた見直しが行われ、有効かつ効率的な予算計画が組まれており、積算額も妥当である。

### (コメント)

- 研究達成状況ならびに予算配分状況を踏まえた見直しが行われている。
- 限られた予算の中での計画であり、人的配置を最適化してほしい。
- 予算が削減されている中で、データの作り込みやニーズ調査を行う計画となっており、評価できると判断した。

## (5) 実施体制

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

### (総論)

委託者間の打合せも比較的頻繁に行われており、連携体制がとられている。

ぜひ、コーパスなども含め、共有基盤を利用するための情報共有に力をいれてほしい。

研究の進捗に伴い、次年度から委託先が東工大から東北大学病院へ変更されることなどは自然な流れであり、限られた予算の中で工夫が認められる。

### (コメント)

- 研究の進捗に伴い、委託先の変更が行われている。
- 委託者間の打合せも比較的頻繁に行われている。
- 次年度からは東工大から東北大学病院へ委託先を変更することは自然な流れである。
- 限られた予算の中で工夫している
- それぞれの課題ごとに縦割りになっている感もあるため、ぜひ、コーパスなども含め、共有基盤を利用するための情報共有に力をいれてほしい。
- 実際のニーズを持つ研究者と連携しており、その成熟度は、未知数であるが、十分な準備はしていると判断した。